

JA7DZK伊藤正昭氏、仙台市民俗資料館で講演

仙台市民俗資料館は、開館45周年・建物築150年記念として企画展「通信の変化と人々の暮らし」を開催しました。

開催期間：2024年7月20日(土)～11月20日(日)

開催場所：仙台市宮城野区五輪1-3-7（榴ヶ岡公園内）仙台市民俗資料館

① 講座

日時：9月22日(日)「くらしのなかの電波」

講師：JA7DZK 伊藤 正昭 氏

(日本アマチュア無線連盟 東北地方本部 監査長)

② 講座

日時：11月10日(日)

「くらしとともにコミュニケーションはどれくらい変わったか」

講師：宮田 穰 氏 (相模女子大学人間社会部 教授)



【JA7DZK 伊藤正昭氏の講演】

講演会には県内外から17名が参加しました。

DVD観賞後、通信(連絡)方法の変遷と電波(電磁波)利用や将来の電波利用についての予備知識を得ました。

資料として配布した総務省発行の「私たちの身近な電波」～電波教室テキスト～に掲載された図と写真を取り込んでパワーポイントで解説しました。受講者から、将来の通信の5G(5世代)などについて質問が寄せられました。

【展示物等】

アマチュア無線に関して、世界から届いたQSLカード、CQ誌(八木・宇田アンテナ発明100周年記念フォーラム)電鍵(キー)。体験物として、ダイヤル式黒電話で相互通信やモールス符号に挑戦していただきました。

